

熊本大学

数学

問題

2019年度入試

【学部】 教育学部、理学部、医学部、薬学部、工学部

【入試名】 前期日程

【試験日】 2月25日

【試験時間】 120分

【問題解答前の確認事項】

〔注意〕 理・工・医（保健〈放射線技術科学・検査技術科学〉）・薬は **1**～**4**，医（医）は **3**～**6**，教育（実技系を除く）・医（保健〈看護〉）は **1**，**2**，**5**，**7** を解答。



「過去問ライブラリー」は、（株）旺文社が刊行する「全国大学入試問題正解」を中心とした過去問、研究・解答（解答・解説）を掲載しています。本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、（株）旺文社または各情報提供者に帰属します。本サービスに掲載の全部または一部の無断複製、配布、転載、譲渡等を禁止します。各設問に対する「研究・解答」は原則として旺文社が独自に作成したものを掲載しています。掲載問題のうち★印を付したものは、著作権法第67条の2第1項の規定により文化庁長官に裁定申請を行った上で利用しています。

裁定申請日 【2017年】 8/1 【2018年】 4/24、9/20 【2019年】 6/20

- 1 次の条件によって定められる数列 $\{a_n\}$ がある.

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = \frac{2}{a_n} + 1 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

以下の問いに答えよ.

- (1) 自然数 n に対して $a_n \neq 2$ を示せ.
- (2) $b_n = \frac{3}{a_n - 2} + 1$ とおくと、数列 $\{b_n\}$ の一般項を求めよ.
- (3) 数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ.
- (4) $a_n > \frac{5}{2}$ を満たす自然数 n を求めよ.
- 2 1 個のさいころを投げて、出た目の数を a とする. a が偶数のときは $b = \frac{1}{2}a$, a が奇数のときは $b = \frac{1}{2}(a + 3)$ とする. 以下の問いに答えよ.
- (1) $a > b$ となる確率を求めよ.
- (2) $\sin \frac{\pi}{5} > 0.5$ および $\cos \frac{\pi}{5} < 0.9$ を示せ.
- (3) $S = \cos \frac{\pi}{a} + \sin \frac{\pi}{b}$ とおく. $a > b$ であるとき、 $S < 1.7$ となる条件付き確率を求めよ.
- 3 座標平面上の曲線 $C_1: y = x^2 + 2ax - 2a + 1$ および $C_2: y = x^3 + 1$ を考える. 以下の問いに答えよ.
- (1) 曲線 C_1 と曲線 C_2 の共有点がちょうど 2 個になるような実数 a の値を求めよ. ただし、 $a \neq 0$ とする.
- (2) (1) で求めた a に対し、曲線 C_1 と曲線 C_2 で囲まれた部分を x 軸の周りに回転してできる立体の体積を求めよ.
- 4 座標平面上の曲線 $y = x \sin 3x + 3x^2$ ($0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$) を C とする. 曲線 C の接線で原点を通るものを l とし、その接点の x 座標を a とする. ただし、 $0 < a < \frac{\pi}{2}$ とする. 以下の問いに答えよ.
- (1) a の値を求めよ.
- (2) 曲線 C と直線 l の共有点の座標をすべて求めよ.
- (3) 曲線 C と直線 l で囲まれた部分の面積を求めよ.
- 5 座標平面上の直線 l を $y = ax - a - 2$, 直線 m を $y = bx + 3b$ とおく. 直線 l と直線 m は互いに直交しながら座標平面上を動くとする. ただし、 a, b は l と m の条件を保ちながら実数値をとって変化するものとする. 以下の問いに答えよ.
- (1) 直線 l と直線 m の交点 P の軌跡を求めよ.
- (2) 点 $A(1, -2)$, 点 $B(-3, 0)$ に対して、線分 AP および線分 BP の長さを a を用いて表せ.
- (3) $\triangle APB$ の面積が最大となるときの a の値を求めよ.
- 6 赤球と白球の 2 色の球を用いて行うゲームがあり、手元にある球全体に対する赤球の比率が p であるとき、確率 p^2 でゲームに勝つものとする. n を 2 以上の整数とし、赤球、白球ともに n 個入っている箱から n 個の球を取り出してゲームを行った. 以下の問いに答えよ.
- (1) k を 0 以上 n 以下の整数とする. 取り出した n 個の球のうち赤球が k 個となる確率は $\frac{{}_n C_k}{2^n C_n}$ となることを示せ.
- (2) k を 1 以上 n 以下の整数とする. 取り出した n 個の球のうち赤球が k 個となり、さらにゲームに勝つ確率は $\frac{n}{2(2n-1)} \cdot \frac{{}_{n-1} C_{k-1}}{2^{n-2} C_{n-1}}$ であることを示せ.
- (3) ゲームに勝つ確率は $\frac{n}{2(2n-1)}$ であることを示せ.
- 7 以下の問いに答えよ.
- (1) 実数 a, b に対して、 $f(x) = x^2 + ax + b$ とおく. $y = f(x)$ は x 軸および直線 $y = 2x + 3$ に接しているとする. 実数 a, b を求めよ. このとき、 $y = f(x)$, x 軸および直線 $y = 2x + 3$ で囲まれた部分の面積を求めよ.
- (2) 座標平面上の曲線 $C_1: y = x^2 + 2px - 2p$ および $C_2: y = x^3$ の共有点がちょうど 2 個になるような実数 p の値をすべて求めよ.